

長野県信濃美術館整備検討：館内アンケート結果

回答期間：平成 27 年 4 月 1 日～10 日

回答数：16 名（事務室職員、東山受付職員、カフェスタッフ）

- 質問事項：1. 現在の信濃美術館における問題点
 2. 信濃美術館の整備にあたり、考えていること、または取り入れてもらいたいこと
 3. その他

【現在の長野県信濃美術館職員が希望する美術館の姿】

1. 作品の安全を守り、保管していくことができる美術館

現在収蔵している作品はもちろん、県立美術館として、県内文化財の一時避難等にも対応できる施設と運営体制

<具体的には…>

- ・収蔵庫を始めとするバックヤードの充実
 虫害対策、温湿度対策、防犯上問題のない施設
 安全な作業・保管ができるスペースの確保
- ・作品を安全に展示できるスペース
 虫害対策、温湿度対策、防犯上問題のない施設
 収蔵庫から展示室までの安全な動線（高低差の問題等）

2. すべての人にやさしい美術館

バリアフリー、ユニバーサルデザインが徹底された施設

<具体的には…>

- ・身障者用設備の充実（トイレなど）、EV の設置、段差の解消、授乳室の設置等
- ・すべての人にとって鑑賞しやすい展示の実現
- ・十分なスペースを確保した駐車場の整備

3. 快適で親しみやすい美術館

明るく、周囲の公園と一体となった美術館。気軽に立ち寄ることができる美術館。

<具体的には…>

- ・内部の印象が明るい建物。館内施設の位置把握がしやすい建物。
- ・ファインアートはもちろん、メディアアートやインスタレーション等、様々な作品に対応できる展示室。

- ・善光寺や公園一体から、入りやすいルートが設定された施設。
- ・周辺の景観を活かしたり、取り込むような施設。
- ・図書コーナーや子どもの広場、会議室、ワークショップ室、カフェ等、展覧会以外の要素の充実。
- ・ホール、ステージ等、イベントやパフォーマンスができるスペースの設置。

4. 県内の中心的文化施設としての役割を担える美術館

調査・研究、社会的教育機関として、地域を中心になれる美術館。

<具体的には…>

- ・一般の人も研究者も、東京まで行かなくても信濃美術館へ行けば文献調査ができるというぐらいの、充実した研究書籍を揃えた美術館。
- ・広域の文化財レスキューもできるぐらいの、施設と専門職員（学芸員）の確保。
- ・プロパー職員の増員、運営予算の見直し（増額）によって、安定した運営と調査研究ができるようにする。

5. 職員にとって働きやすい職場

日々業務をこなす職員にとって、働きやすい環境の実現

- ・更衣室、休憩室、応接室などの確保。
- ・十分な作業スペース、設備の確保。商品管理のバックヤードや会議室が必要。
- ・雇用形態の安定

【その他の意見：未整理事項】

- ・美術館の運営形態は、指定管理のままでよいのか。
- ・美術館のあり方として、高齢者割引や夜間開館等も検討するべきではないか。
- ・東山魁夷館はどうするのか。
→東山魁夷館も、温湿度管理の難しさや躯体の劣化、バックヤードの不足など、多くの問題を抱えている。